

ネット青葉は、これまで、分別収集や発生抑制施策、容器包装リサイクル法の改正などに取り組み、また、身近な自治体のプラスチック対策を求めて来ました。

持続可能な自然環境の保全の観点や、地球温暖化を考える上でもプラスチック対策は急務であり、最大の基礎自治体である横浜市が、プラスチック対策に取り組むことには大きな意義があると考えます。

今すぐ取り組めるプラスチック対策を

将来を見据えて、プラスチックに変わる代替素材を



追求することは不可欠です。しかし、すぐに市がイニシアティブを持って取り組むことができるのは発生抑制です。それを促すために、例えば、ワンウェイプラスチックに変わるびんや再生紙、天然素材の活用や、リユース食器の活用など、今すぐにできる対策を進めるべきです。

早期に分別収集方法の見直しを

横浜市では、缶・びん・ペットボトルを混合収集していることから、リターナブルビンは、全く活用できていません。分別収集のあり方を見直すことがリサイクルのみならず、実効性あるリユースの促進につながります。

横浜市では、今年9月に「よこはまプラスチック資源循環アクションプログラム」の策定を予定しています。実効性あるプログラムとなるよう提案していきます。

「ひとりにしない子育て」 ～横浜・世田谷の実践から 未来を語ろう～

6月、横浜都筑公会堂(30日)、世田谷生活クラブ館(27日)、保坂展人世田谷区長と若林ともこさんのクロストークが開催されました。(主催：これからの子育てを考える会)

世田谷では、NPO 法人フローレンスの駒崎弘樹さんもスペシャルゲストとして参加、ピッピ・親子サポートネットの友澤ゆみ子理事長のコーディネートで若林ともこさんとのパネルディスカッションとなりました。



保坂展人世田谷区長



▲友澤ゆみ子理事長

▲若林ともこさん

▲駒崎弘樹さん

貧困や虐待といった課題と決して無縁ではない地域の細かなニーズを制度へと反映してゆく政治の役割を再認識するイベントとなりました。



青木マキ 2018 年度 「政務活動費」市民公開

神奈川ネットでは、2007 年度から毎年、政務活動費の公開を行っています。

7月30日には、2018 年度に交付された政務活動費について、青木マキ前横浜市議を始めとし所属議員の収支報告書や調査報告、政策提案をまとめた報告書を公開しました。改めて、市が尾事務所にて市民公開を実施します。

日時：2019 年 10 月 6 日 (日) 14:00～

場所：ネット青葉事務所

(青葉区市が尾町 1151-1 ライオンズマンション市が尾第 2-203)

お申込：お名前・ご連絡先を明記の上、下記まで。

E-mail：net-aoba@nifty.com

FAX：045-508-9474